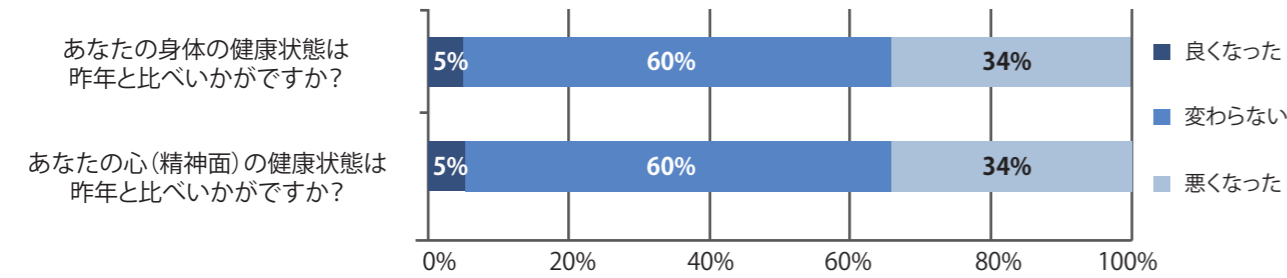
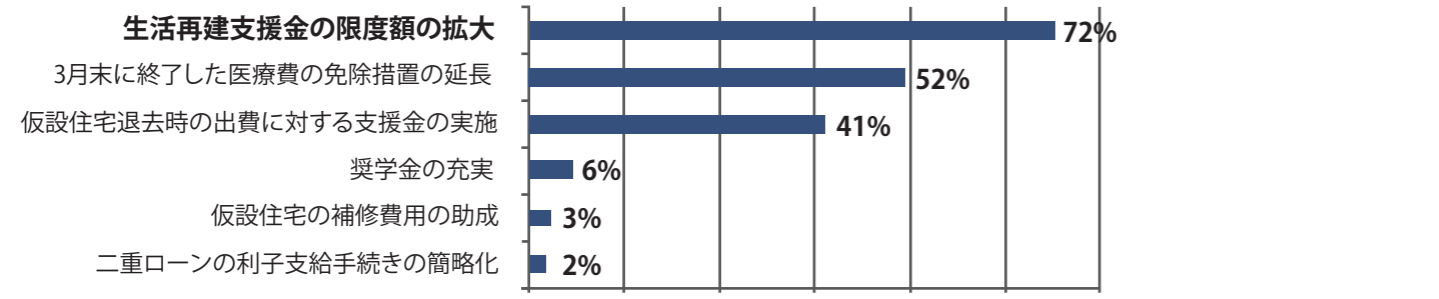


Q. 家族の心身の健康状態について、お聞かせください。



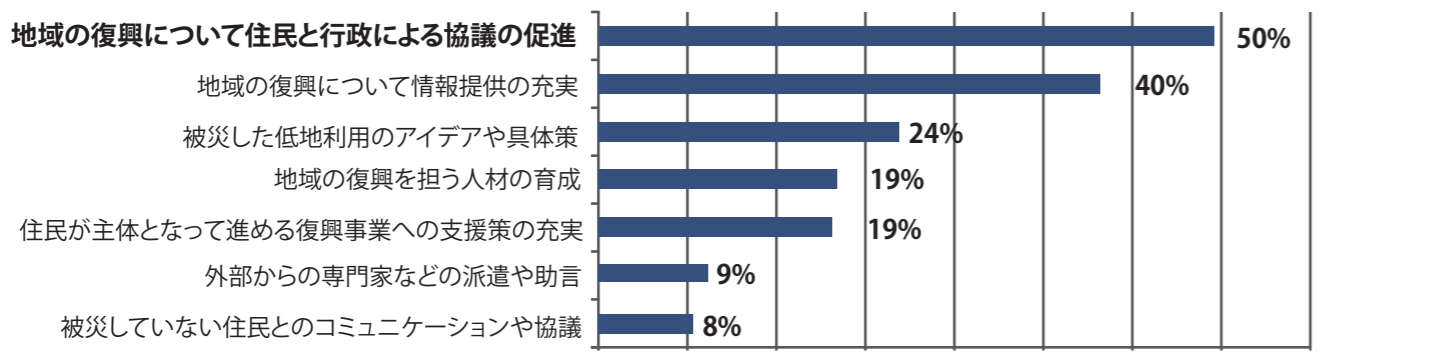
心身の健康状態についてうかがったところ、身体の健康面と精神面ともに「1年前より身体の健康状態が悪くなった」が30%を超える結果となっています。

Q. 被災者の生活再建に対する要望として、特に希望することを下記から2つまで選んで下さい。



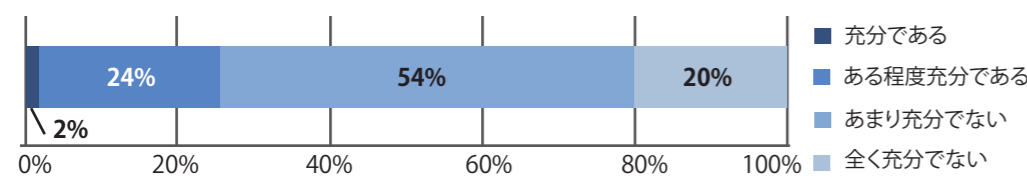
生活再建をはじめとした支援金の補助、医療費の免除に回答が集中しています。一方で、二重ローン対策や奨学金の充実といった要望は10%以下となっています。

Q. あなたの地域の復興まちづくりを進めるために、特に重要だと思う内容についてあてはまるものを下記から2つまで選んで下さい。



地域の復興に向けた情報提供と住民と行政の協議が行われることが重要だと認識されています。これに続いて、低地利用のアイデアの具体化、住民主体の復興に向けた支援の充実があげられています。

Q. 陸前高田市において地域の復興や生活再建について住民参加や情報提供は十分だと思いますか？



上記の質問でもあげられた課題ですが、住民参加や情報提供が充分でないと感じている方が70%を超えています。

仮設住宅の住まいと暮らしに関する意向調査 -速報版-

陸前高田地域再生支援研究プロジェクトチーム 平成25年12月

陸前高田地域再生支援研究プロジェクトチームは、平成23年から毎年8月に陸前高田市内の仮設住宅団地の調査を重ねてきました。本年は今後の復興施策や取組みに反映するため、陸前高田市仮設住宅連絡会の協力を得て、現在の暮らし、今後の住まいと生活に関するアンケート調査を行わせていただきました。まずは、速報版として結果をご報告致します。

代表；宮城 孝（法政大学教授）

アンケートの回答率と回答者の属性

アンケート配布数；2020
有効回答数；899
有効回答率；44.5%

回答者の属性

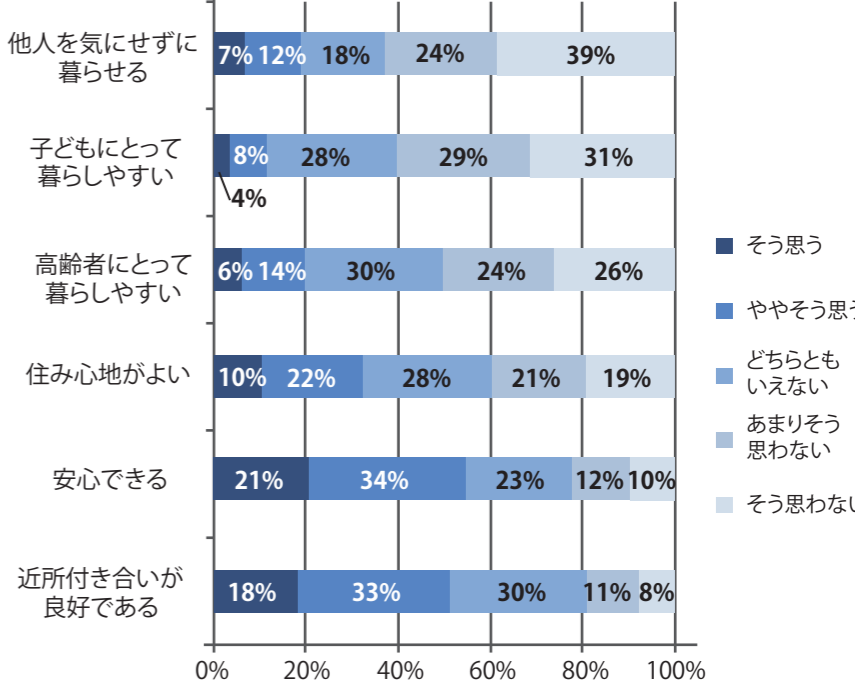
性別 男性；40%、女性；60%

年齢 10代；0%
20代；2%
30代；6%
40代；14%
50代；18%
60代；26%
70代；24%
80代～；10%

被災前の居住地

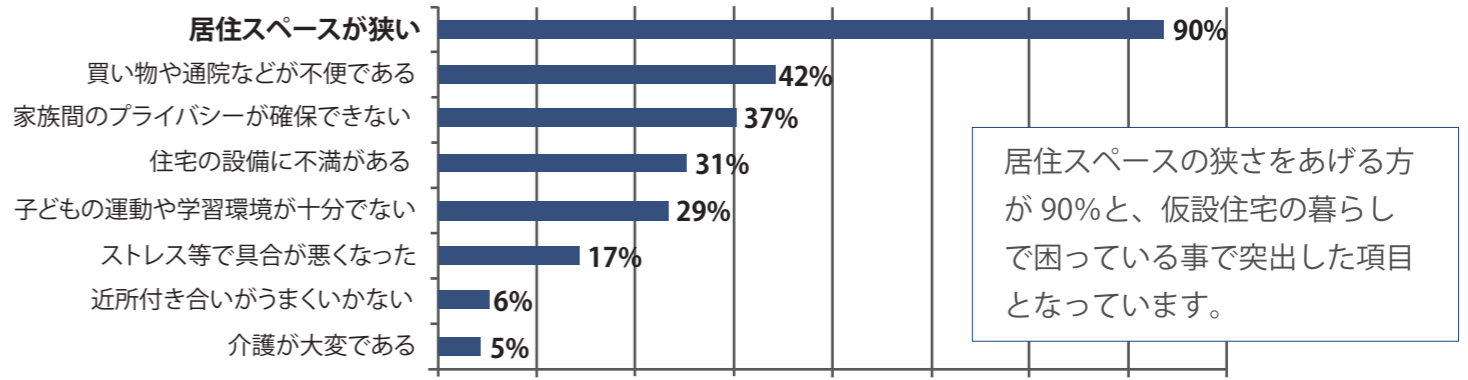
高田町；42%
気仙町（今泉）；18%
気仙町（長部）；10%
竹駒町；2%
米崎町；12%
小友町；8%
広田町；7%
矢作町；1%

Q. 現在の仮設住宅の暮らしについて、どう思いますか？



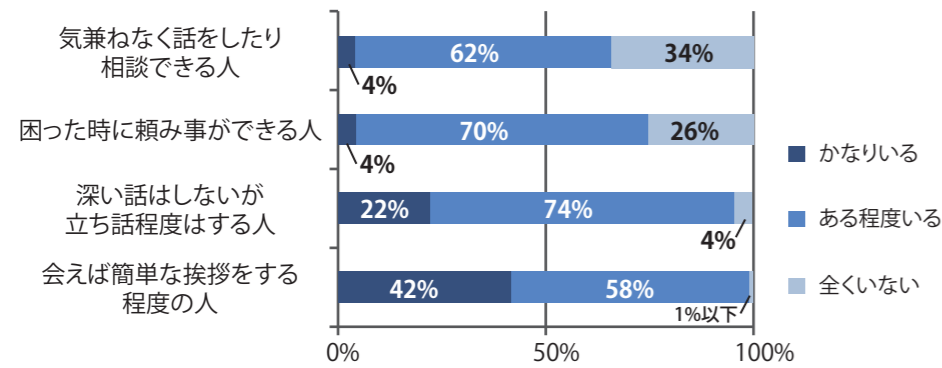
仮設住宅の暮らしは安心できるという答えが50%以上となりましたが、他人を気にした暮らし、高齢者や子どもにとって暮らしにくい環境との意見が過半数を超えています。

Q. あなたのご家族が、現在の仮設住宅での暮らしで特に困っていることについて、あてはまることを下記から3つまで選んで下さい。



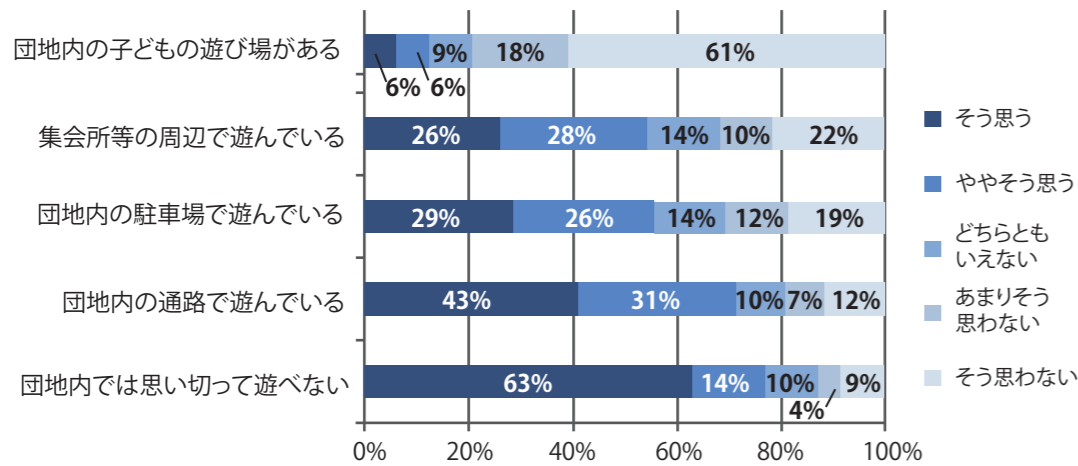
居住スペースの狭さをあげる方が90%と、仮設住宅の暮らしで困っている事で突出した項目となっています。

Q. 仮設住宅の近所付き合いについて、あてはまる内容に○をつけて下さい。



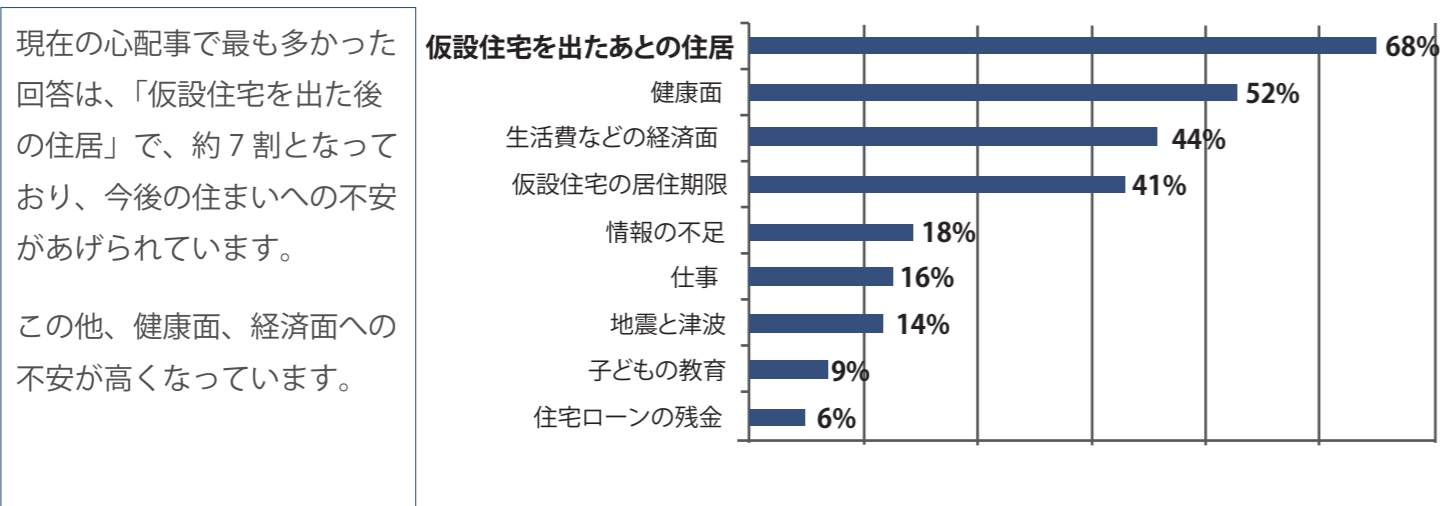
近所付き合いで挨拶をする人、立ち話をする人はいるといった意見は大多数をしめしましたが、30%以上の方が気兼ねなく相談できる人がいないと回答しています。

Q. 仮設住宅に暮らす子どもの遊び(場)について、最もあてはまる内容に○をつけて下さい。



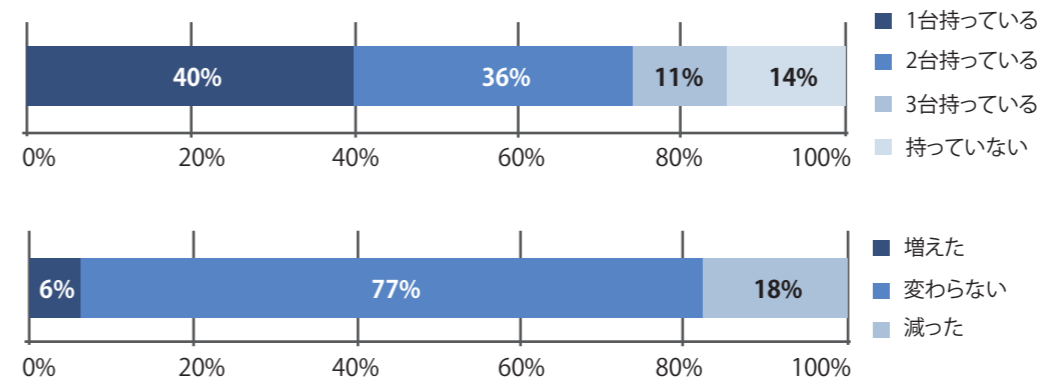
団地内に子どもの遊び場がない、団地内で思い切って遊べないという回答がともに70%を超えており、仮設住宅生活において子どもの遊び環境が良くないことが見て取れます。

Q. あなたとご家族が、現在特に心配なことは何ですか？ 次の1~10から3つ以内を選んで下さい。



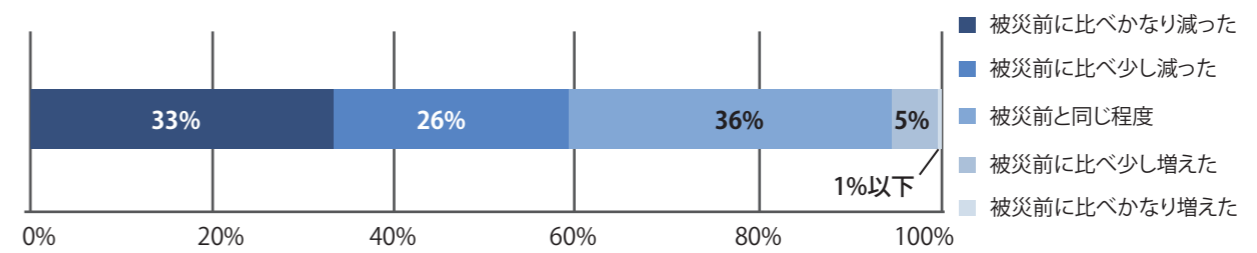
現在の心配事で最も多かった回答は、「仮設住宅を出た後の住居」で、約7割となっており、今後の住まいへの不安があげられています。この他、健康面、経済面への不安が高くなっています。

Q. ご家族の自家用車の保有について、教えてください。



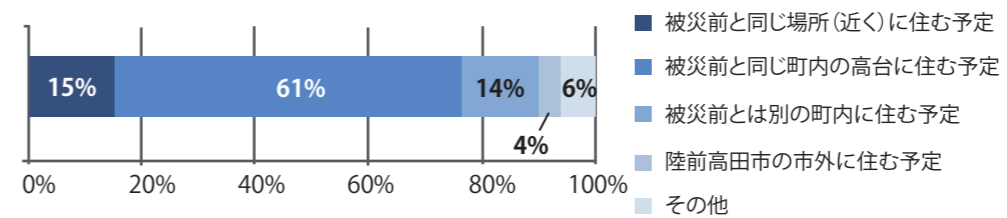
自家用車の保有は被災前と同等程度となっており、自動車を保有していない世帯は14%となっています。なお、世帯主が70代以上の一人暮らし世帯に限ると非保有率が50%を超える結果となっています。

Q. あなたの同居のご家族の世帯収入は、被災前と比べていかがですか？あてはまるものを1つ選んで下さい。



被災前に比べて収入がかなり減ったと回答された方が3人に1人の割合にのぼり、被災前に比べて少し減ったを合わせると60%近くになり、被災後の収入減少が顕著になっています。

Q. 今後の住まいについて、お考えを聞かせて下さい。



被災前と同じ町内の高台に住む予定と答えられた方が60%以上と高く、被災前と同じ場所(近く)に住む予定を合わせると75%を超える結果となりました。再建にあたっては、持ち家戸建が56%公営住宅が44%と判断が分かれています。なお、持ち家戸建と答えられた方の半数以上が自己資金を中心とした再建を考えています。また、公営住宅でも一戸建てを希望する方が60%にのぼっています。

